2022.12.23 発行

Insight Determination Endeavor Attainment

兵庫県立三田祥雲館高等学校 21 回生年次通信 第１２号

iDEA’ｓ 月間を終えて

iDEA’s 月間と称して１１月を学習強化月間としましたが、みなさんいかがでしたか。目標を達成できた人、できなかった人さまざまだと思いますが、少しは学習に対する意識を持つことができたのではないでしょうか。周りの友達が頑張っている姿を見て刺激を受けた人も多いでしょうね。このような取り組みに対して「面倒だなあ」と思うのではなく、「よし、やってやろう」と考えることができる２１回生の雰囲気は素晴らしいと思います。１月からもいろんなイベント（？）を用意していますので、「またか…」と思わずに取り組んでくださいね。

書いてもらった振り返りシートを一部紹介します。

①iDEA’s 月間の目標は？　②目標は達成できましたか？
③目標達成できた、できなかった要因を振り返ってみよう。
④iDEA’s 月間を終えて。

■　１組　田吹　芽依

①毎週 1000 分以上勉強する。　②できなかった。
③スマホやテレビなどの誘惑に負けてしまった。1000 分が思っていた以上に多くて、超えそうで超えなかった。平日の時間の使い方が悪かった。
④始めは iDEA’s 月間なんて面倒だなって思っていましたが、実際やってみると意外とよかったです。目標は達成できなかったけど、以前よりも勉強時間が増えました。テスト期間ではないのに 800 分を超えたのは新しい発見だったし、1000 分が遠い壁ではなくなりました。1000 分を超えるのに鍵となるのは、平日の時間の使い方だと思います。スマホを見る時間をワークの時間に回していきたいです。そして、自分なりに計画を細分化して、その時間に何を勉強するか考えて取り組みたいです。

一つの目標を立てることで自分の意識が変わることがわかったのはよかったです。また iDEA’s 月間をやりたいです。

■　２組　薬師　遥

①物理を毎日１５分する。②できた。
③毎日コツコツできるように１５分という時間設定にしたので続けられた。スキマ時間を使って勉強することができた。
④これからも習慣として続けていく。基礎をしっかり続けることを大切にしていく。毎日勉強することで、どの公式で何が求められているのかを理解することができたので、それを忘れないように日々確認する。公式を覚えることに時間がかかってしまい、問題をたくさん解くことができなかったので、これからはどの問題でも公式を正しく使って問題を解いていきたい。

■　３組　中川　心優

①自主的に１日３時間集中して勉強に取り組む。
②達成できたと思います。
③達成できた要因として、毎日同じ生活を送ることができたということだと思います。早起き（５時半ぐらい）して、早寝する（２３時までには寝る）という基本的な習慣を確立できました。山本先生との面談の後に、助言していただいたことを実行して、より良い１１月になったと思います。
④自分がやるべきことは何なのか、最優先で取り組むことはどれなのかをしっかり見極めて頑張っていこうと思います。

■　４組　嘉土　直祐

①小テ全合格。　②英単１回不合格のため達成ならず。
③できなかった要因としては、勉強時間が足りなかったの一言に尽きます。不合格だった日は部活の朝練があり、いつもより時間がなかったのにも関わらず、いつも通りの勉強の仕方で臨んでしまいました。
④iDEA’s 月間を終えて感じていることは、目標を立てることがいかに効果的かということです。結果としては達成することができなかったけど、iDEA’s 月間をきっかけに今までの勉強方法を見直し、以前より時間を確保するようになって、満点合格も増えるなど良い効果がありました。また、自分自身の勉強法を改善できるポイントを見つけることができました。今後もより良い学習習慣を身につけていきたいです。

■　５組　馬場　絢女

①小テストで満点をとる。②できました。
③面談を踏まえて、テストまで毎日単語を見て覚えるだけでなく、復習もする勉強法に変えたからだと思います。
④毎日単語を見ることでしっかり覚えることができて、テストでしっかり点数を取ることができました。また、精神的にもあわてることがなくなったので、これを続けていきたいです。

■　６組　肥田　真桜

①勉強しない日を作らない。週に 2 日以上は 2 時間勉強する。
②達成できた（が、満足はいっていない）。
③部活後に「今日はあれとこれを（勉強）しよう」と考えはするが、家に帰るとなかなか手につかず、予習と明日の用意をして寝てしまうことが多くあった。土日で 2 時間は勉強するので、取り返すことはできていたが、習慣にすることはできなかった。考査前で部活がなくなると、２時間くらいは余裕だった。
④計画を可視化する。曜日ごとの夜のルーティーンを決める。授業ノート等、普段から提出のことを考えてまとめておくようにしようと思った。部活の日でも、どこかに寄って勉強する。また、週ごとの目標を決めていたので、それは続けていこうと思う。

教室にストーブが入りました

体育の持久走が始まりました

祥雲 SSH 講演会

１２月１９日（月）に上記の講演会がありました。講師に京都大学、樋口雅一特定準教授をお迎えしました。クイズ形式で講演が進み、先生の軽妙なトークをみなさん楽しそうに聞いていましたが、要所要所に大事なメッセージがあったのを覚えていますか。「理系文系に分かれて勉強するのは、日本だけ。大事なことは、今勉強していることをすべて繋ぎ合わせること。」宮崎駿さんのコメントから「流行りものはやりたくない。みんながやっていると安心するが、おもしろくない。流行っているものではなく、やりたいことをやるのが大事だ。」など、みなさんの心にぜひ留めておいてほしい言葉がたくさんありました。

午後からも大喜利のような講演が続きました。クリスマスについて討論する場面では、１年次の中からも立候補で壇上に上がってくれ、クリスマスに対する思いを楽しく話してくれました。盛り上げてくれた３人ありがとう。

「アイデアは既存の情報の組み合わせである。」と言われていました。「文系だから数学はいらない。」「理系だから国語は勉強しなくていい。」などと考えるのではなく、「この勉強がいつか何かの役に立つかもしれない。」と思いながら学びを続けていきたいものです。そしてもう一つ、樋口先生が大事なことを言われていました。「英語は絶対に大事だよ。話せるようにならないといけないよ。」

樋口先生からの質問

早押しクイズ

討論会も行われました

かわいい眼鏡でしたね

真剣に話を聞いていました

祥雲 SSH シンポジウム

１２月１７日（土）に「はやぶさ２と三田の星空」をテーマに祥雲 SSH シンポジウムが開かれました。

本校科学部天文班の発表「恒星食を利用した小惑星 Hansa の観測」から始まり、株式会社コスモス食品の発表、関西学院大学理学部物理学科、中井教授の研究室の学生の発表、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の宇宙科学研究所准教授である岩田 隆浩氏の講演を聞きました。未知の世界が大きく広がる宇宙に関することや研究について学び、新たな知見を深めることができました。あいにくの雨天であったため、第２部の天体観測は中止となり、科学部天文班やさんだ天文クラブの方々による星空に関するクイズ等を行いました。

2022 年を振り返って

早いもので、今年も残すところ１週間となりました。２１回生のみなさんにとってこの２０２２年は、高校受験や三田祥雲館高校への入学など人生の大きな節目となる１年でしたね。４月から始まった高校生活は、慣れないことも多く（課題や小テストも多く）、大変な日々だったと思います。予習や課題に追われ、体育の授業に向けて校内を走り、眠気と闘いながら授業を受けるみなさんを見ていると、すっかり祥雲生になったなあと感じます。忙しい毎日で、日々を振り返る余裕もなかったと思いますが、この年末年始は頑張った自分を十分に労わってあげてください。また、みなさんの高校生活を誰よりも応援し、支えてくださっているのはご家族の方々です。普段は忙しくて家のお手伝いなどをできていない人もたくさんいることでしょう。面と向かっては言いにくい「ありがとう」の代わりに、感謝の気持ちを込めてお手伝いをしてください。

年末年始は、親戚の方々や友達に会う機会もあると思います。みなさんにとって大事な人たちとの時間を大切にし、英気を養ってまた学校に戻って来てください。１月からまた、忙しい日々が待っていますよ！２１回生全員で２０２３年も駆け抜けましょう。それでは、良いお年を！

12月の予定

26 日(月)～28 日(水)冬季補習

1月の予定

6 日(金)　プログレス探究 A
10 日(火)　全校集会
11 日(水)　課題考査　①国語　②英語　③数学
　④LHR　⑤⑥カルタ大会
12 日(木)　通常授業開始
14 日(土)　総合学力テスト
21 日(土)　第 3 回英検
25 日(水)　④性教育講演会
29 日(日)　サイエンスフェア in 兵庫(神戸)

保護者の皆様へ

あっという間に年の瀬となりました。緊張した様子で入学してきた２１回生との出会いから９か月。学校という「社会」の中で様々なことを経験し、心身ともに成長している２１回生ですが、友達や教師との関わりの中でストレスを感じることもたくさんあったと思います。そのような中でも本校へのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。普段は忙しくて、お子様とゆっくりお話をされる時間を持つことができないご家庭もあるかと思います。この冬休みを利用して、ぜひお子様から学校の話（愚痴）を聞いていただければと思います。

１月からは、１年次の総復習と２年次への準備をしていく STEP UP 期間となります。学習面、生活面の両面において最高の状態で２年次にステップアップできるように年次全体で盛り上げていきたいと考えています。今後も年次ブログ等でお子様の学校での様子をお伝えしていきますので、保護者の皆様もチーム２１回生の一員として、三田祥雲館高校を見守っていただければと思います。２０２３年もどうぞよろしくお願いいたします。